

しだれ桜

2023年度 郡上市立八幡小学校

学校だより No.3 6月号

今年度の教育理念

「一人ひとりの可能性が拓く学校」

子どもたちの朝

校長 野々田光則

毎朝、子どもたちが登校して徐々に一日の活動に入る姿を楽しみにしています。

「校長先生、これっ！歯が抜けた」・・・最近の1年生のあいさつです。抜けた部分がむずむずしているらしく、指で押さえたり、舌で押さえたりして友だちと話をしています。

「なすの食べれるところが出てきたよ」と教えてくれるのは2年生。農園で自分たちが育てている野菜がだんだん大きくなっていくのが楽しみでしかたがないようです。

3・4年生は、プールが始まって、プールバックにゴーグルやカードが入っているかを友だち同士で確かめながら校舎に入っていきます。

5・6年生は、委員会活動に入ります。校舎前では、生活委員会があいさつ運動で通学班を大きな声で出迎えてくれるので、気持ちが明るくなります。

光の会（朝の会）では各教室から元気な歌声が響き、心を美しくさせてくれます。

このように、朝の子どもたちの活動は、一日のリズムをつくる大切な活動です。活動に自分が進んで取り組んだり関わったりすることが、その日の自分を前向きにさせるエネルギーとなっているように感じています。このエネルギーの源になっている一つが、朝食などの食事です。

6月は「食育月間」です。食育基本法の中で、食育は「生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるもの」「心身の成長及び人格の形成に大きな影響を及ぼし、生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性をはぐくんでいく基礎となるもの」と位置付けられています。食事は、単に体の成長のためとしているのではなく、例えば家族と一緒に食事を楽しみながらコミュニケーションをとる、毎日同じ時間に食事をしてリズムをつくる、食材を通して、農業や漁業、自然環境など、毎日の食事の背景にあるものに関心をもつなど、私たちの生き方に関わってきます。



毎日の給食の時間には、健康委員会のメンバーが「今日のこんだて」を放送してくれます。下記の内容は6月27日の放送分です。また、『ケンコーズ』というチームをつくって、給食センターの調理員さんの紹介や給食こんだてクイズを行い全校に働きかけてくれます。「いただきます」「ごちそうさま」に感謝の気持ちをこめて…。

6月27日（火）今日のお話 「ブルーベリー」

ブルーベリーは、目によいということがわかってから、人気のある食べ物になりました。ブルーベリーには、アントシアニンという成分があり、目の疲れ、目の痛み、涙が出るなどを治す働きがあります。収穫に時期になると、生で売っていますが、多くは干しぶどうのように、乾燥してあるものや、ジャムなどに加工して使います。

今日は、八幡の鷲見耕平さんのたまねぎを使っています。



本との触れ合いを通して、心を豊かに

今年度より、市図書館の移動図書館による貸し出しが始まりました。また、本校の図書室に、公益財団法人日本教育公務員弘済会様より、本を贈呈していただきました。

思わず手に取りたくなる本、一緒に楽しむことができる本、興味をそそられる本がたくさんあります。

学校では「家読」も大切にしています。大人の私たちが読書を楽しんだり、子どもに読んで聞かせたりすることで、子どもの読書人生は豊かなものになります。もうすぐ夏休みも来ます。本を通じて家族の楽しい語らい、ふれあいの時間をつくってみませんか。



水泳の学習が始まる

5・6年生がピカピカに磨いてくれたプール。太陽の光を浴びて、水面がきらきらと輝いています。

水泳の学習では、冷たい水に触れ思わず歓声があがりました。水中ジャンケンやボール拾いなど、水に親しむとともに、泳力を付けていきます。



「引き渡し訓練」の実施

保護者の皆様のご理解とご協力のおかげで、「引き渡し訓練」を無事に実施できました。引き渡しの際の「受付」「校内の移動の仕方」など、事前のお便りにて確認いただき、本当にありがとうございました。

大きな自然災害や事件が起こったとき、誰でも動揺します。だからこそ、今回のような訓練を行うことで、保護者の皆様、学校の職員も慌てずに行動することができます。これは、子どもの命を守ることに繋がると考えます。これからも保護者の皆様と手を取り合って、子どもの成長を支えていきたいと思えます。今後ともよろしく願いいたします。